

# 鎌倉スーパーシティ構想

## 「共生みらい都市」～世界一Well-Beingが高いまちKamakuraの実現～

- 「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会」を目指す（共生社会の共創）
- スーパーシティの取組みは、これまで先人たちが大切にしてきた理念を引き継ぎ、持続的な取組みにより、鎌倉のまちを次世代に責任を持って引き継ぐ

### ～ 鎌倉市が大切にすまちづくりの理念 ～

- 古いものを大切にしながら、積極的に新しいものを取り入れ、新たな価値を築く “鎌倉らしさ”
- 市民力・地域力を活かし、自然をはじめまちに関わる全ての要素を繋げ、地域課題を解決し、まちの魅力を高める “共生の精神”



これまで豊かさの指標としてきたGDPに代わる、真の市民の豊かさ・幸福を考えるうえで必要な指標を確立し、PDCAを通じて、鎌倉の幸福と暮らしやすさのモデルを精緻化することで鎌倉から世界一幸福な共生社会の構築を目指す

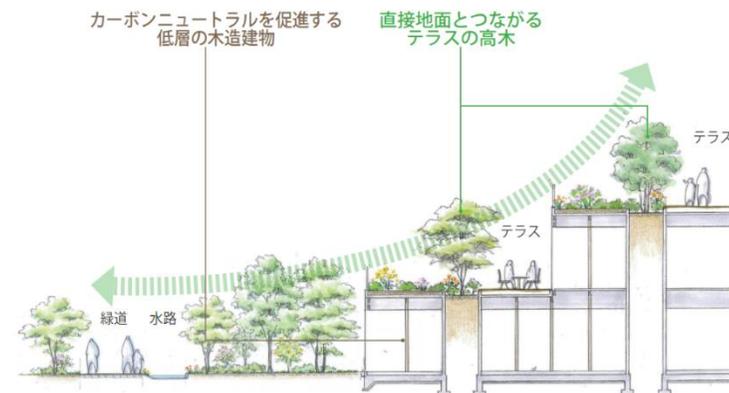
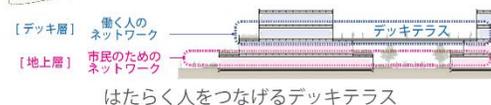
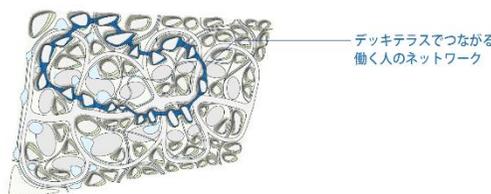
**鎌倉の幸福感と暮らしやすさ（人の内面）をデジタルツインとしてモデル化**

Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

# 地球環境（カーボンニュートラル）と社会活動が寄り添う次世代のコミュニティ

- 私は鎌倉で育ち、歴史の深さと、海山の自然に恵まれた鎌倉の潜在的可能性と、その都市としての魅力を身をもって体験しています。古都としての世界的知名度を誇る鎌倉が、最先端のテクノロジーを装備することによって、様々な環境問題解決のヒントを世界に与え、伝統と未来の融合の世界となることを期待しています。
- 鎌倉の恵まれた自然資源を守り、さらに力強く再生させながら、その鎌倉らしい自然とカーボンニュートラルな自然素材を活用した都市に、**デジタルテクノロジーと生活のシームレスな融合によって可能となるやさしくあたたかい新しいコミュニティを創造したい**と考えます。
- 鎌倉の歴史や文化、そして山、谷、川、海が有機的につながった自然条件の融合が生む鎌倉的価値を新しいテクノロジーと結合させることによって、世界を牽引し、世界の人々を吸引する新しい都市モデルを作ります。

リードアーキテクト 隈研吾



緑が立体的につながる丘のような建築

Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

# 未来への循環

- 鎌倉のまちは、鎌倉駅周辺や谷戸地形などに代表される古くから住宅地や商店街として土地利用が進んできた場所、大船駅周辺などに代表される都市的土地利用が進む場所、さらに高度経済成長期に開発された大規模住宅地などの既存市街地①と、新たなまちづくりが進む場所②と性格の異なる2種類の地域が存在
- 性格の異なる地域がそれぞれの特性を生かした役割を果し、互いに影響しあうことで、市域全体のポテンシャルを高めていく

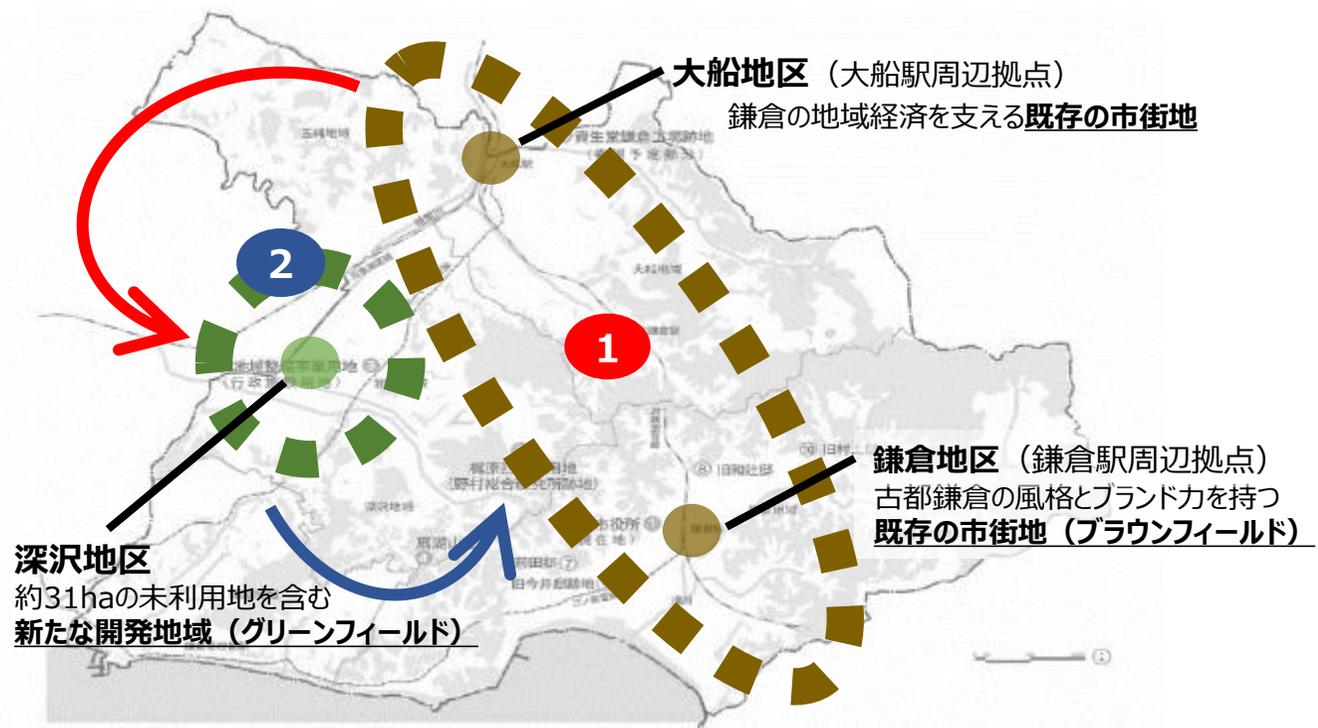
1

旧鎌倉地区や大船地区などの既存の市街地で発生している①災害激甚化、②交通・観光の適正化、③超少子高齢化などの地域課題の解決に、データやテクノロジーを活用して先行して取組む

2

既存の市街地での取組で得た知見を、今後開発が進む深沢地区の新たなまちづくりに生かす  
さらに、深沢のまちづくりの成果を既存の市街地にフィードバックし、新たなまちづくりと既存の市街地のまちづくりを立体的に取組む

未来への循環



Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

# 「共生みらい都市」の実現に向けた3レイヤーデザイン

- 鎌倉スーパーシティは、共生みらい都市の実現に向けて3つのレイヤーが有機的に連動するようにトータルデザイン

Citizen participation layer

Well-Beingを共創する



Well-Being

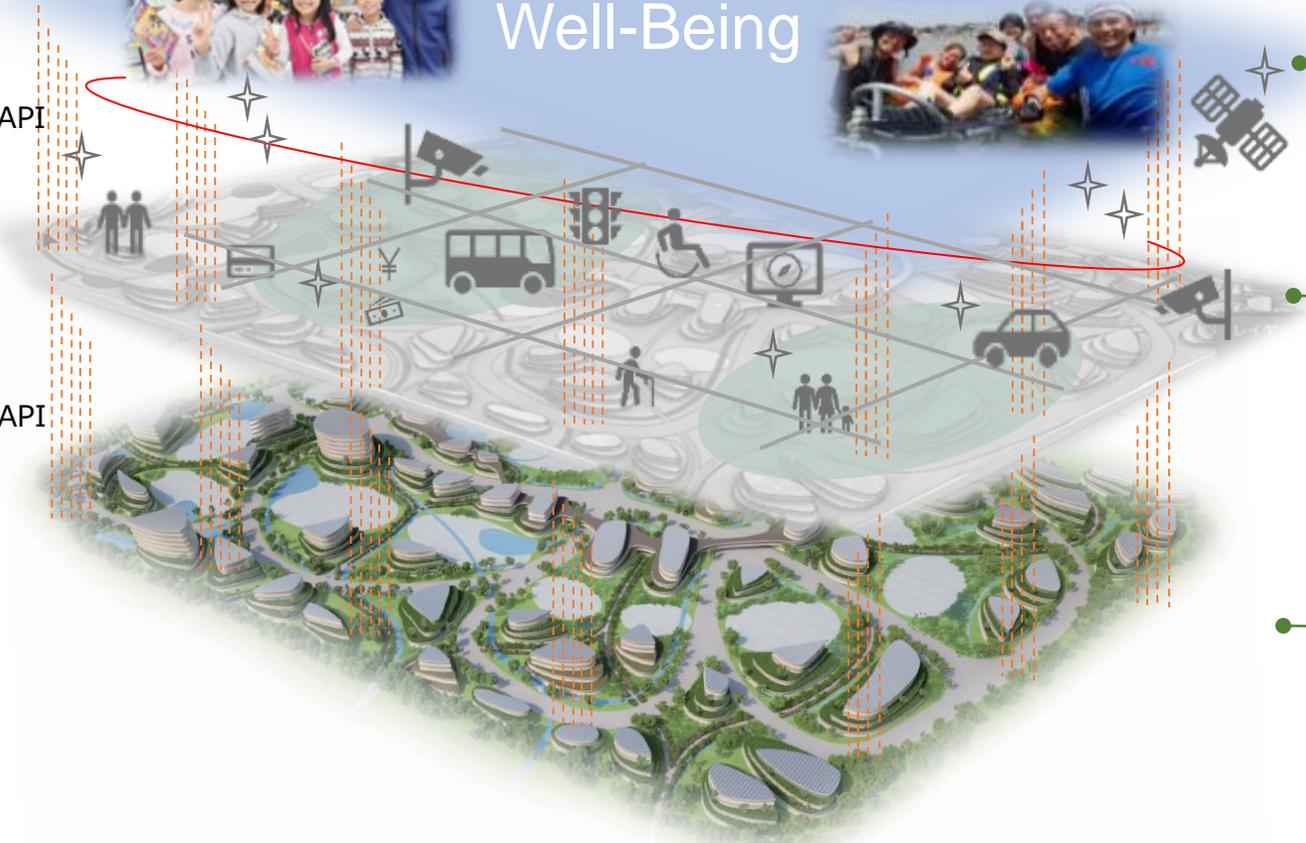


Digital layer

デジタルで課題を解決する

Open API

Open API



Physical layer

まちのハードをリデザインする

鎌倉市の幸福感と住みやすさのデジタルツイン構想

Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

# 連鎖する3フェーズアプローチ

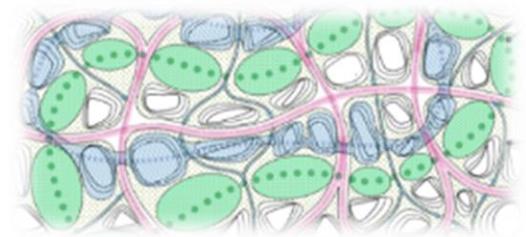
## ■ Phase I (～2025) 課題に向きあい、今、ここから変える

スーパーシティでは、人に寄り添うデジタルテクノロジーを適切に活用することで、「人口減少・少子高齢化」に起因する諸課題のほか、「自然地形や歴史的風土、文化の保存・継承」と「災害対策・交通渋滞の解消（安全・安心な市民の暮らしの実現）」など、両立・共生が困難と考えられてきた課題解決に取り組む。  
さらに、Phase IIを見据え、土地区画整理法等の規制緩和による自由な都市設計を目指す。



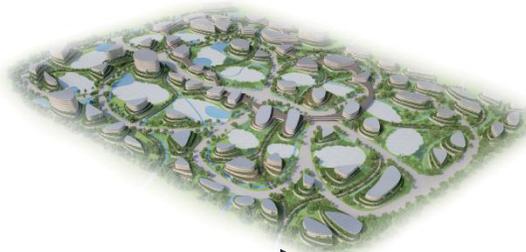
## ■ Phase II (～2030) Society 5.0 のまちを創るため「まちのOS」を書き換える

効率性を重視した20世紀のまちづくりは、環境負荷を高めるだけでなく、人口減少・少子高齢化の進行に伴うコミュニティや利便性・快適性の低下を顕在化し、さらには、激甚化する災害には無力であることを露呈させた。  
スーパーシティの取り組みでは、自然と人、人と地域など、まちを構成する全ての要素がつながり、共生するまちづくりを目指す。



## ■ Phase III (～2050) 進化し続けるまち“鎌倉スーパーシティ”

Phase I, II を通して実現されたまちの変革を拡大し、繰り返すことにより鎌倉スーパーシティビジョンを実現していく。

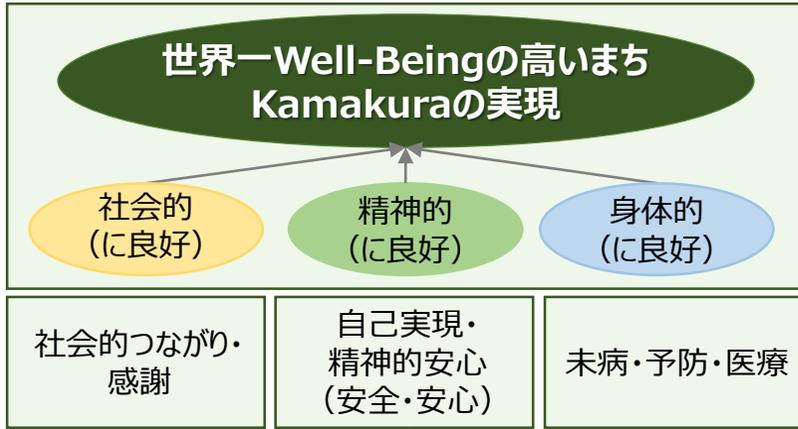


Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

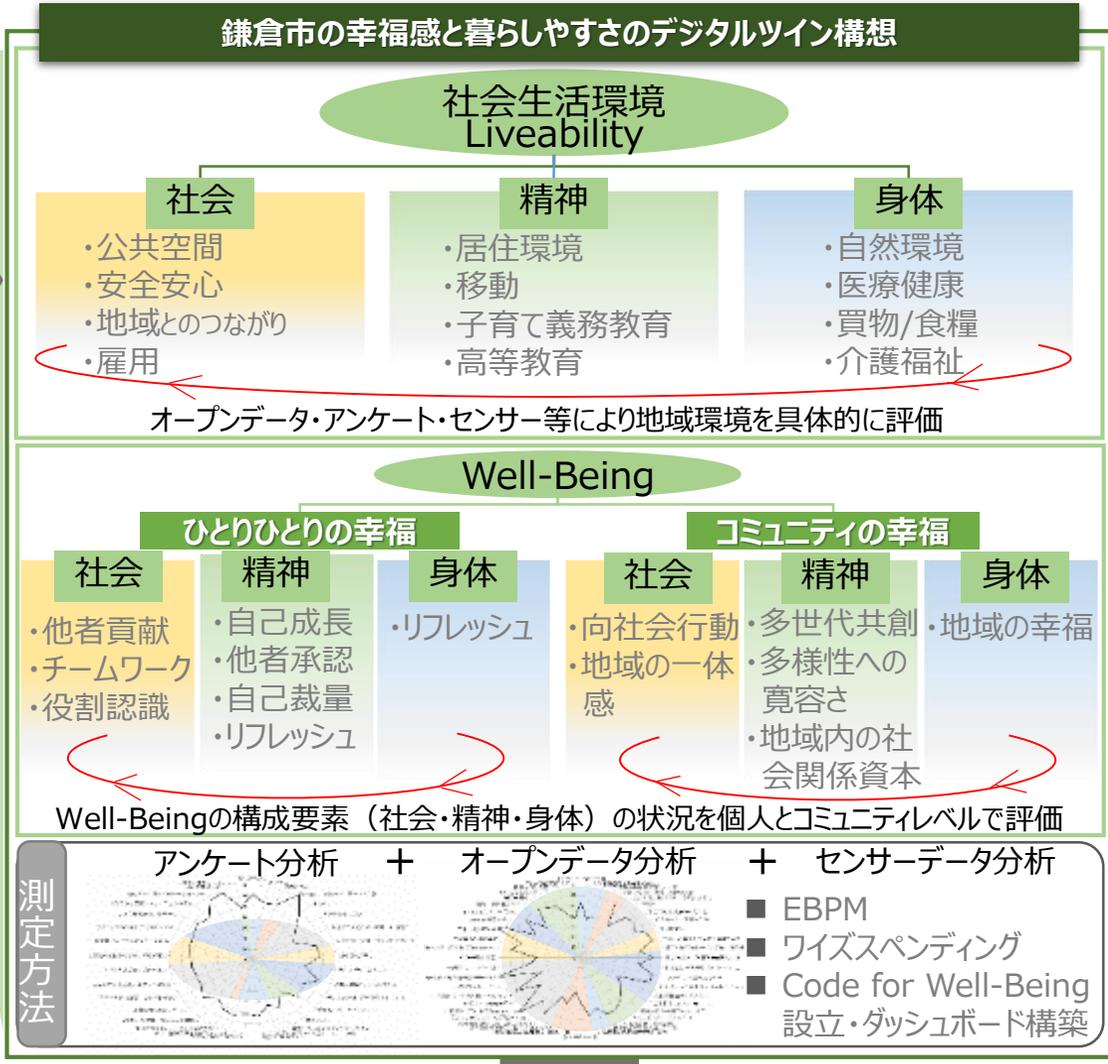
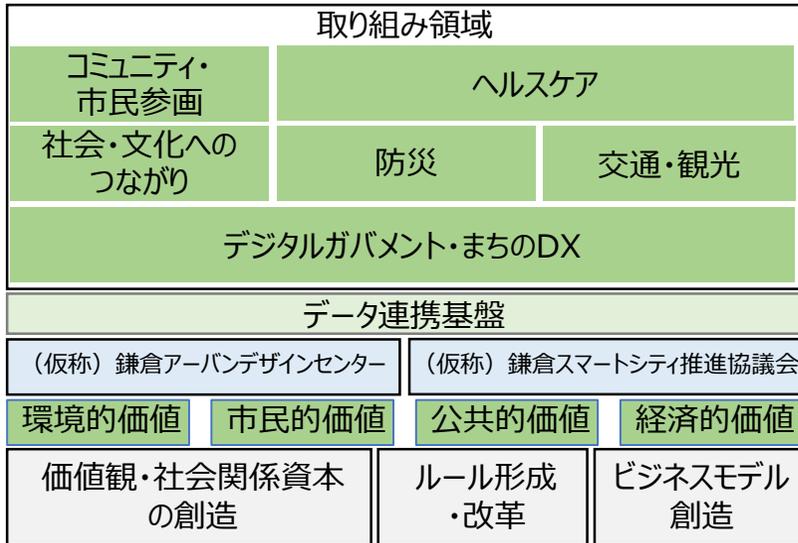
# 幸福感と暮らしやすさ（人の内面）のデジタルツイン

■ 鎌倉の文化や歴史を踏まえた幸福のあり方を可視化し、定量的な評価を基にスーパーシティを継続的に進化

慶應義塾大学 Well-Beingリサーチ参与 前野教授の助言



市民のWell-BeingとLiveabilityの向上



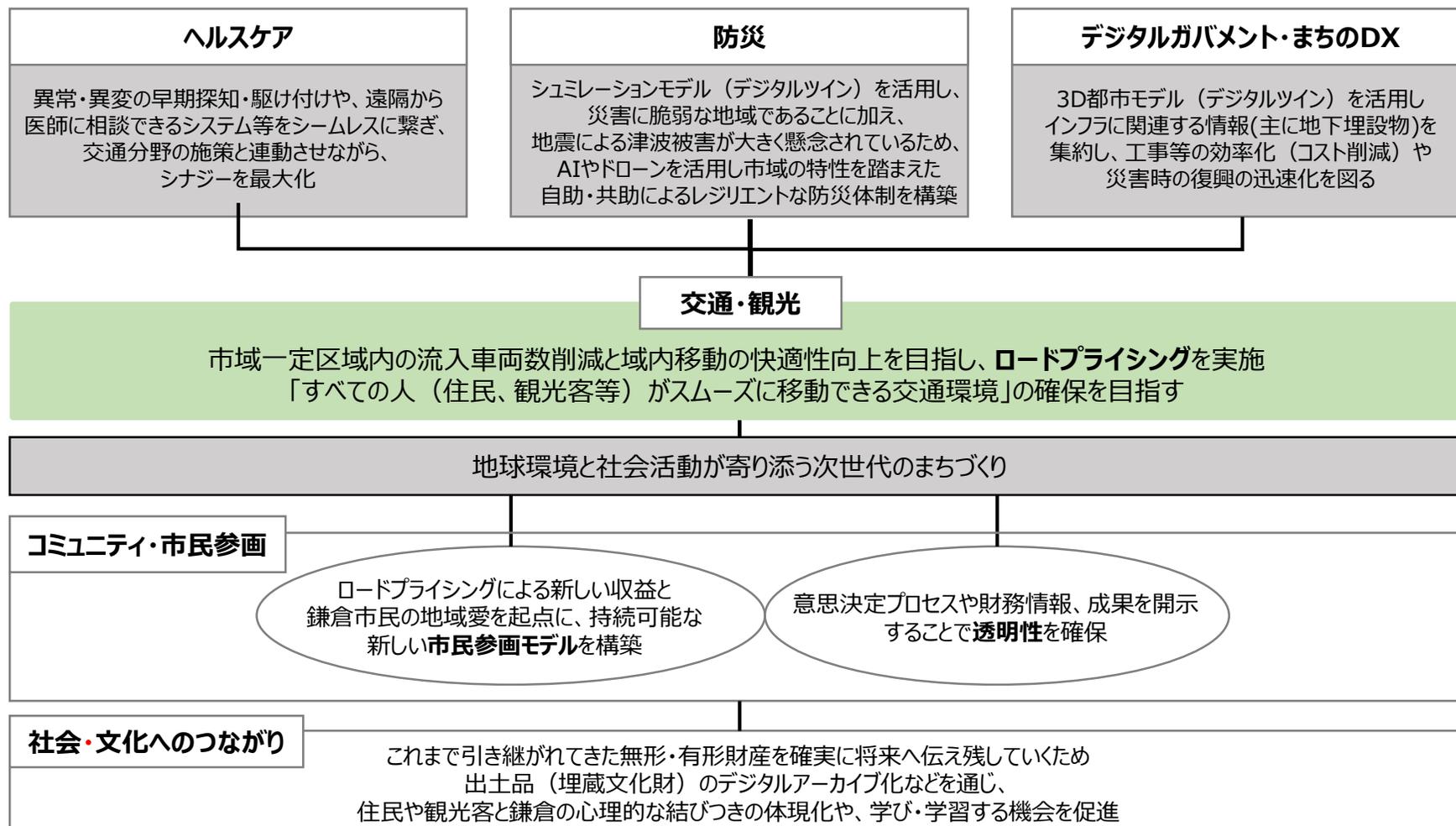
フィードバック (Well-Being向上のために解決すべき課題の提示)

■ 幸福と暮らしやすさリンク・ローン (後段)  
■ 幸福度No.1フィンランドとの連携 (参考資料)

# 先端的サービス概要

## 概要

- 鎌倉市の抱える中枢課題は、**オーバーツーリズムを一因とした交通渋滞**であり、市民生活・社会経済活動に様々な課題を生み出している
- 本提案では、課題解決に向けた取組領域として、「交通・観光」を主軸に「防災」、「ヘルスケア」、「デジタルガバメント・まちのDX」、「コミュニティ・市民参画」、「社会・文化へのつながり」の6テーマから、**先端的なサービスの実装及び規制緩和と要望等に関してアプローチする**



# 鎌倉スーパーシティ構想の推進体制

市民や企業等の意見を集約し「産官学民が共創」する体制を構築

